




收受年月日	議長	事務局長	書記
27.9.4			
第100号			



平成 27 年 9 月 4 日

埴町議会議長 鈴木道男 様

経済厚生常任委員会委員長 割貝寿一



### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

#### 記

#### 1 調査事件

町道管理事業

#### 2 調査の経過及び結果

- (1) 調査日時 平成 27 年 8 月 11 日 9:00~14:53
- (2) 調査場所 現地及び委員会室
- (3) 調査対象 各行政区から陳情があったもののうち町道 12 路線、林道 1 路線、県道 2 路線
- (4) 出席委員 割貝寿一、鈴木安次、藤田一男、小峰由久、吉田克則
- (5) 説明員 まち整備課長、みち整備係長
- (6) 調査方法 陳情箇所を目視し必要に応じ説明員から説明を受けた。
- (7) 調査の結果

本委員会は、先に町道管理の状況について調査を行ったところであるが、本町の町道は 196 路線にのぼり「路面にくぼみがあるなど通行に支障をきたすのではと危惧される個所が散見される。」(平成 27 年 6 月 8 日報告) ことから、特に陳情のあった路線について管理状況実態把握のため現地確認を行った。また、各行政区から議会及び町に陳情された案件の処理状況の確認を併せて行った。調査結果は別紙一覧のとおりである。

山間部は全般的に狭隘かつ急こう配な路線が多く、拡幅改良が必要と思われる。すべての路線の拡幅改良には莫大な費用を要することから優先路線を決定し選択と集中による整備が求められる。しかしながら、山間部は人家が点在することからほとんどの路線が生活道路として重要なので、それら路線の最低限の安全確保に配慮すべきである。

陳情の処理状況としては、緊急性のある個所は速やかに補修工事などが行われており、事業費がかさむ箇所は年次計画で実施していた。一方、補修の必要性はあるものの通行可能で生活道路としての性格が低い個所については工事着手には至っていない。また、大規模な改良を要望されている個所などは検討中のことであった。

### 3 意見

今回の調査は、町内道路網の実態把握という点では非常に有意義であった。町の面積の広さ、奥の深さを改めて実感したところである。

以下、所感を述べる。

まず、道路管理に対する姿勢である。

道路補修の優先度は、通行量や想定される利用者などによっても異なり、通行の少ない山間部の狭隘な道路などが低くなるのはやむを得ないと考えられる。しかし、道路は町民の生活に欠くことのできないものであるから、最低限の安全確保は図られなければならない。管理者責任もさることながら、道路管理は町民の生命と財産を守る崇高な使命を果たすための一つであることを肝に銘じ管理にあたらなければならない。

次に、陳情との関係である。

196 路線のパトロールを担当職員だけで行うのは困難で、行政区長を通じ細かな情報が陳情として届けられることの意義は大きい。しかし、陳情には路肩崩落や法面崩落など道路管理者として当然対応すべきものや緊急性を帯びた案件など陳情にはなじまないと思われるものも含まれる。察するに、担当部署に一報したものの改めて陳情しているものもあると思うが、行政区長等からの通報体制の整備と通報された情報の内部処理の工夫で、陳情するまでもなく対応可能ではないか、また、対応しなければならないのではないか。そのような仕組みを整えるべきである。

また、陳情の中には緊急性及び有効性が低いと思われる案件も含まれるほか、年次計画で実施している個所についても毎年陳情をしている事例もある。また、行政区としての陳情ではあるが個人の要望的案件も含まれるなど、陳情の形骸化などが危惧されるところである。

町道は町が責任を持って管理しなければならないことを大前提にした、情報収集をはじめとする管理態勢づくりが必要である。

町道等管理状況調査結果一覧

区名	路線名	陳情内容	調査結果
東河内区	出戸粉金線	路肩崩落（県道接続部から）	コンクリート舗装路肩洗掘
	湯沢猫穴線	暗渠崩落箇所修（猫穴大友氏宅前）	アスファルト舗装路路肩崩落
	湯沢一本木線	改良（湯沢地内豊田林道終点から一本木方面） 日陰解消（一本木）	改良済区間であるがカーブが連続し見通しが悪い。 急こう配箇所冬期間の凍結が心配される。
川上四区	清水和久見明線	舗装及び改修	待避所を数か所設置している。河川と隣接しており拡幅は容易でない。
	和久中平線	改良	橋梁の新設が必要。現在町で検討中とのこと。
	薄久保線	日陰解消	急こう配箇所凍結の危険性がある。山側の立木が道路を覆っている。
大畑区、大蔵区	清水大畑線	路肩崩落（立石地内）	陳情後速やかに着手、修繕工事完了済み
	萩平橋本線	路肩沈下（旗竿設置場所付近）及び国道接続箇所改良	沈下は見られるものの進行していない。自動車下部が路面接触するケースあり。
折籠区	折籠南線	路肩陥没、路面沈下、土砂堆積	陥没箇所は数回にわたり対応しているが、山側からの流水等により再発の可能性あり。
	林道折籠線	法面崩落	過剰な流入水により排水末端が崩落
矢塚区	那倉矢塚線	舗装延長	今年度約150m実施により那倉側は全線舗装となる。日陰解消必要箇所も見受けられるが周辺が国有林のため思うように進まない様子。
矢塚区、片貝区	県道高萩塙線	改良	急カーブが連続し、幅員も狭い。本格的な改良が求められるが莫大な事業費が見込まれる。

植田区、 伊香区	県道矢祭 山八槻線	歩道整備ほか	交通量も多く、必要性は理解する。土地 取得からの実施となり時間を要する。
台宿一 区、台宿 二区	県道矢祭 山八槻線	信号機の設置（天領 大橋出口）	公安委員会に申請済みである。
	南原1号 線	街路樹伐採（南原ニ ュータウン）	敷地出入りのため支障となる街路樹の 伐採である。今年度実施を検討してい る。
	台宿南原 線	歩道整備（南原）	付近は路上駐車などが見受けられると ころである。現在路上駐車をなくすため 駐車場設置を検討している。 歩道は、町営住宅の移転を伴うもので近 近の実施は困難。

# 調査・研修等報告書

氏名	副貝 毅一	提出年 月日	平成27年9月4日
調査等 名称	経済厚生常任委員会 庁管事務調査		
調査等 の日時	平成27年8月11日	場所	現地
調査等 の内容	街道管理事業現地調査		
意見 感想	百瀬は一見にしかず 陳情書に従って		
	現場を確認した		
	地元住民の窮状がわかり、各行政区の		
	陳状の大切さを感した。		
	しかし 比較的は中山間地で		
	人口減少が考えられる所に災害が		
	多くなっている。財政上、税金を投入し		
	続けられるのか これから先が問題であると思ふ		

# 調査・研修等報告書

氏名	鈴木安次	提出年 月日	平成27年8月13日
調査等 名称	経済厚生常任委員会所管事務調査		
調査等 の日時	平成27年8月11日	場所	町内一円
調査等 の内容	東河内区、川上四区、大畑区・大蔵区、折籠区、矢塚区、矢塚・片貝区、		
	植田・伊香区、台宿一区・二区からそれぞれ陳情のあった町道、一部県道		
	を現地調査した。		
意見 感想	最近の陳情書は地図や写真を添付して分かりやすい陳情書になっているが、各地区の区長さん誰もが出来る事ではないと思うので最初の区長会でもっと簡単な陳情書で良いことを説明しても良いのではないか。		
	又、その陳情書に基づいて調査したが、特に緊急性のある所は無かったがそれぞれの陳情について計画的に実施して行ってほしい。		
	地域の陳情状況は現場に行ってみないと分からないので今回の調査はよかったのではないか。		
	埴町は山間部が多く各地区の区長さんの陳情書を待つのではなく、我々議員も区長さんや住民の方々の声に耳をもっと傾けていかなければならないと思う。		

調査・研修等報告書

氏名	吉田 克則	提出 年月日	平成27年8月26日
調査等 名称	経済厚生常任委員会所管事務調査		
調査等 の日時	平成27年8月11日 9:00～	場 所	町内現地
調査等 の内容	町道管理事業現地調査		
意見感想等	<p>行政区からの町道等の陳情書から現地調査を実施した。東河内区・川上四区・大畑区・大蔵区・折籠区・矢塚区・片貝区・植田区・伊香区・台宿一区・台宿二区。</p> <p>路肩崩落、暗渠崩落、舗装改修、日陰解消、路面沈下、土砂体積、舗装延長、舗道整備、信号機設置、街路樹伐採、舗装整備等各行政区から様々な陳情されている各所を現地調査した。</p> <p>町道等の管理は町において点検調査をしているが各行政区からの陳情による現場の声は大切と思う。町道等の管理において各行政区の役割は大きいと感じた。</p>		

調査・研修等報告書

氏名	小峰 由久		提出年 月日	
調査等 名称	経済厚生常任委員会			
調査等 の日時	27-8-11	場所	町内	
調査等 の内容	行政区域の町界、林道、県道の現地			
	調査			
意見 感想	毎年陳情を続ける行政区域と町の担当者			
	の苦勞を実感した。			
	町の変化によりはたしてと言う町道が相当			
	ある様に思うが見直すのはむずかしい			
	のかなれと思ふ			



8/17

IPKNOWLEDGE Office

Mail

---

受信メール: 経済厚生委員会の報告

送信者: fujita kazuo  
宛先: 議会事務局  
日付: 2015/08/17 00:09  
状態: 開封済  
添付ファイル: body2.html

---

各区の陳情はその区では重要だと思うが、陳情内容をよく検討し、重要性、緊急性、必要性をよく精査し、予算もある中公平に事業を進めるべきと考える。

---

印刷者: 議会事務局

2015/08/19 18:37

